

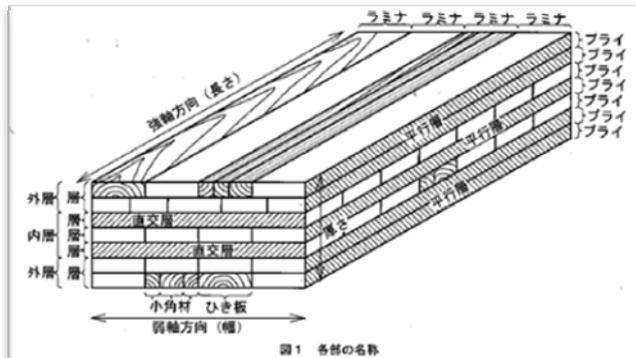
# 直交集成板（CLT）の日本農林規格の概要

制定：平成 25 年 12 月 20 日農林水産省告示第 3079 号

## 【適用の範囲】

この規格は、ひき板又は小角材をその繊維方向を互いにほぼ平行にして幅方向に並べ又は接着したものを、主としてその繊維方向を互いにほぼ直角にして積層接着し、3 層以上の構造を持たせた一般材に適用する。

用語	定義
ラミナ	直交集成板を構成する最小単位のひき板
プライ	ラミナをその繊維方向に互いにほぼ平行にして幅方向に並べ又は接着したもの
層	直交集成板を構成するプライ又はプライをその繊維方向を互いにほぼ平行に積層接着したもの
強軸方向	直交集成板の外層プライの繊維方向
弱軸方向	直交集成板の強軸方向に対して直角の方向
異等級構成	構成する層同士の品質が同一でない直交集成板の構成であって、層の構成が直交集成材の厚さの方向の中心軸に対して対称であるもの
同一等級構成	構成する層同士の品質が同一の直交集成板の構成
A種構成	異等級構成または同一等級構成のうち、等級区分機により測定されたラミナ等級に曲げヤング係数の上限値を定めないラミナ又は目視により区分されたラミナを使用したもの
B種構成	異等級構成または同一等級構成のうち、等級区分機により測定されたラミナ等級に曲げヤング係数の上限値を定めたラミナのみを使用したもの



## 【規格】

構成：3層3プライ、3層4プライ等の6種類を基本

寸法：厚さ 36 mm以上～500 mm以下（ラミナの厚さ 12 mm以上 50 mm以下、原則として等厚）、幅 300 mm以上、長さ 900 mm以上

接着剤：使用環境によりレゾルシノール樹脂、水性高分子イソシアネート系樹脂等

含水率：15%以下

## 【表示事項】

品名、強度等級、種別、接着性能、樹種名、寸法、検査の方法、幅はぎ評価プライ、ホルムアルデヒド放散量、使用接着剤等の種類 等

## 【試験方法】

浸せき剥離試験、煮沸剥離試験、減圧加圧剥離試験、ブロックせん断試験、含水率試験、曲げ試験、ホルムアルデヒド放散量試験、ラミナ曲げ試験、ラミナ引張り試験